

生成 AI を活用した英作文指導：

～生徒が自律した学習者となるために～

2025/5/24

兵庫県立宝塚西高等学校

英語科教諭 上本 善之

yoshiyuki.u07@gmail.com

① 自己紹介



② 学校について

兵庫県立宝塚西高等学校

- ・全日制普通科 普通クラス×5 国際教養コース×1
- ・偏差値帯 45～50 関関同立産近甲龍など私立大学への進学が主
- ・生徒は素直で意欲的
- ・ICT 先進校 R6 BYOD 端末使用率県下 1 位（生徒用端末ネットワーク同時接続台数 1 位）
全 HR 教室に AppleTV 完備 ロイロノートで校内情報共有をオンライン化

③ 今回の活動の狙い

- ・生徒を「自律した英語学習者」にする
⇒自律した英語学習者…自分で学び、改善することができる
- ・生成 AI のプロンプト作成のコツを伝える
⇒将来役立つスキルを
- ・教員の添削負担を軽減する
⇒パフォーマンステスト実施のハードルを下げる

④ 活動のプロセス

1. テストの課題を発表
2. 課題に対する作文を自分で準備⇒AI を使って英文を準備しても良い（※当日は持ち込み不可）
3. 覚える⇒正しい英文を記憶して英語力向上を狙う
4. 授業で 15 分でテスト
5. 教師がルーブリックで評価
6. 返却されたものを AI で添削
7. AI のアドバイスを読んで反省をロイロノートで提出

⑤ ライティングテストの用紙と評価基準ルーブリック

もし日本語と同じように英語が自由に話せるとしたら、何に挑戦したいですか？ その理由とその挑戦がどのように自分を変えるのかについて40語以上の英語で述べなさい。

※記入上の注意
 ① 空欄には、1マスにつき必ず1語のみを記入すること。
 ② ピリオドやカンマなどの記号は、単語と一緒に1つの空欄にまとめて記入すること。
 (指示に従っていない場合は、合計点から2点減点する)

記入例: I said Are you all right? However, she

8						
16						
24						
32						
40						
48						
56						
64						
72						
80						
88						
96						
104						
112						
120						
128						
136						
144						
152						
160						

文章量	内容	文法・スペルなど	表現
5 120語以上	5	5	5
3 80語以上	3	3	3
1 40語以上	1	1	1
0 39語以下	0	0	0

合計 /20

1年()組()番 氏名()

今回のテーマ

高1の3学期で、仮定法の使用を意図した出題

文章量が把握しやすいよう、1マスに1語ずつ書くように指示

4つの観点で評価

フィードバックはAIが行うので、教員は4項目のチェックのみ

★文章量

0点 40語未満 (※40語未満の場合は、評価項目②と③も0点、④は1点)

1点 40語以上 3点 80語以上 5点 120語以上

★内容

0点 言いたいことが読み取れない

1点 「理由」も「どう自分を変えるか」も不明瞭

3点 「理由」と「どう自分を変えるか」のうち、どちらかが不明瞭

5点 「理由」と「どう自分を変えるか」の両方がしっかり書けている

★文法・スペルなど

0点 言いたいことが読み取れない

1点 ミスが多く、読解に難がある

3点 ミスはあるが何とか読むことができる

5点 ほとんどミスが無く、とても読みやすい

★表現

1点 稚拙な表現にとどまっている

3点 習った文法・表現を使おうとする努力が見える

5点 様々な文法・用語を使用しており、表現に多様性がある

⑥ 生徒の作品と評価基準の参考例その①

8	If	I	can	speaking	I	would	like	To
16	enjoy	reading	English	books,	watching	English	movies	and
24	singing	English	songs.	I	will	be	able	To
32	understand	different	culture	for	them.	It	also	I
40	can	learn	more	English	words	so,	I	speaking
48	English	better.	Speaking	English	better	is	good	for
56	me	because	I	can	choose	a	lot	of
64	jobs	future	and	I	can	go	To	travel
72	for	some	countries.					
80								
88								
96								
104								
112								
120								
128								
136								
144								
152								
160								

文章量	内容	文法・スペルなど	表現
5 120語以上	5	5	5
3 80語以上	3	3	3
1 40語以上	1	1	1
0 39語以下	0	0	0
合計			
8 /20			

- 40 語以上 80 語未満
- 理由とどのように変えるかは一応書けているがしっかりとはいがたい
- 文法・スペルミスが散見されるが読解に難があるというほどではない
- 仮定法が使えておらず、表現も基本的なものにとどまっている

⑦ 生徒の作品と評価基準の参考例その②

8	If	I	could	speaking	English	fluently,	I	would
16	like	to	work	in	a	foreign	country	and
24	make	new	friends	with	people	around	the	world.
32	I	have	two	reasons	First,	working	abroad	would
40	give	me	new	experiences	and	opportunities	I	could
48	learn	different	ways	of	thinking	and	improve	my
56	communication	skills.	Second,	making	friends	from	other	countries
64	could	help	me	discover	a	new	identity.	I
72	would	like	to	learn	about	other	countries' culture	
80	and	share	Japanese	culture	In	addition,	I	think
88	I	could	connect	with	people	around	the	world,
96	such	as	through	Instagram	or	direct	conversation	Therefore,
104	if	I	could	speaking	English	as	fluently	as
112	native	speaker.	I	would	like	to	work	in
120	a	foreign	country	and	make	new	friends	with
128	people	around	the	world.				
136								
144								
152								
160								

文章量	内容	文法・スペルなど	表現
5 120語以上	5	5	5
3 80語以上	3	3	3
1 40語以上	1	1	1
0 39語以下	0	0	0
合計			
20 /20			

- 120 語以上
- 理由とどのように変えるか(と読みとれるもの)がしっかりと書けている
- 文法・スペルミスがほぼ無く読みやすい
- 仮定法が使えていて、In addition や Therefore などのディスコースマーカーも効果的に使えている

⑧ 生成 AI に入力するプロンプト（生徒に配布しているロイロノートのカード）

1. 以下の指示文をChat GPTにコピーして、「以下英文：」のコロン以降にパフォーマンステストで書いた英文を打ち込む。
2. 出力された回答に目を通し、自分のミスの特長やフィードバックを確認する。
3. 出力された回答画面を全てスクリーンショットで撮影し、このカードの2枚目の「ふりかえりシート」を記入して、「ふりかえりシート」⇒「スクリーンショット」の順番でカードを連結してロイロで提出する。
4. 提出期限：2月19日（水）8：30 （※論表の課題提出点に入ります）

あなたは高校の英語教師です。「もし日本語と同じように英語が自由に話せるとしたら何に挑戦したいですか？その理由、及びその挑戦がどのように自分を変えるのかについて英語で述べなさい」というテーマで高校生が作成した英文エッセイを添削します。以下のポイントに留意して、英文の添削を行ってください。

- ①元の原稿を極力活かした状態で文法やスペル等の誤りを修正する
- ②修正した箇所をリストアップして、なぜその部分を修正したのか一つずつ解説する
- ③エッセイ全体を通したその生徒の文法的な誤りにどのような特徴があるか分析し、今後の学習時に何に留意すればよいか解説する
- ④英文の内容や構成そのものに対するジェネラルなフィードバックを行う

以下英文：

★プロンプト作成時のポイント

1. 役割を与える

⇒「高校の英語教師」のように役割を与えることで、生成 AI がその職業になったつもりでフィードバックをくれるので、より教育的な回答が期待できる。

2. 状況を説明する

⇒「～というテーマで高校生が作成した英文エッセイを添削します」のように、「どういうシチュエーションなのか」、「対象は誰なのか」、などを明記することで回答の精度が上がる

3. 手順を細かく記載する

⇒「添削してください」のようなざっくりした指示だと、元の英文からかけ離れた完璧なものが出力されてしまい、生徒のレベルに合わず参考になりにくい。「元の原稿を極力活かした状態で～」と指示することで文法やスペルの誤りに修正を限定し、②③④の指示でより生徒が参考にしやすいフォーマットの回答が出力される可能性を高める。

⑨ 生成 AI から出力された添削例

二

ChatGPT >



あなたは高校の英語教師です。「もし日本語と同じように英語が自由に話せるとしたら何に挑戦したいですか？その理由、及びその挑戦がどのように自分を変えるのかについて英語で述べなさい」というテーマで高校生が作成した英文エッセイを添削します。以下のポイントに留意して、英文の添削を行ってください。

- ① 元の原稿を極力活かした状態で文法やスペル等の誤りを修正する
- ② 修正した箇所をリストアップして、なぜその部分を修正したのか一つずつ解説する
- ③ エッセイ全体を通したその生徒の文法的な誤りにどのような特徴があるか分析し、今後の学習時に何に留意すればよいか解説する
- ④ 英文の内容や構成そのものに対するジェネラルなフィードバックを行う

以下英文：If I can speak, I would like to enjoy reading English books, watching English movies and singing English songs. I will be able to understand different culture for them. It also I can learn more English words so , I speak English better. Speaking English better is good for me because I can choose a lot of jods future and I can go to travel for some counturies.

① 修正後の英文（原文を極力活かした形での修正）

If I could speak English as freely as Japanese, I would like to enjoy reading English books, watching English movies, and singing English songs. I would be able to understand different cultures through them. Also, I could learn more English words, so I would be able to speak English better. Speaking English better would be good for me because I could choose from a lot of jobs in the future, and I could travel to some countries.

※元の英文画像

8	If	I	can	speak	I	would	like	To
16	enjoy	reading	English	books	watching	English	movies	and
24	singing	English	songs	I	will	be	able	to
32	understand	different	culture	for	them	It	also	I
40	can	learn	more	English	words	so	I	speak
48	English	better	Speaking	English	better	is	good	for
56	me	because	I	can	choose	a	lot	of
64	jobs	future	and	I	can	go	to	travel
72	for	some	countries					
80								
88								

② 修正箇所と解説

1. "If I can speak" → "If I could speak"

- ・ 仮定法過去を使うべき文脈です。「もし英語を自由に話せたら」という現実にはまだない仮定を表しています。仮定法では、現在の非現実的な状況を表すために過去形を使います。

2. "I will be able to" → "I would be able to"

- ・ 仮定法過去の条件に続く文なので、助動詞も仮定法の形に合わせて「would」を使います。

3. "understand different culture" → "understand different cultures"

- ・ 「culture」は数えられる名詞であり、「さまざまな文化」という意味では複数形 "cultures" が適切です。

4. "It also I can learn" → "Also, I could learn"

- ・ 「It」は文脈上不要です。また、仮定法過去の条件に合わせて「could」に統一しました。さらに、「Also」は文頭に置くことでつながりがスムーズになります。

5. "so , I speak English better" → "so I would be able to speak English better"

- ・ 仮定法の流れを維持するために「would be able to」を使用。カンマの位置も修正しました。

6. "Speaking English better is good for me" → "Speaking English better would be good for me"

- ・ 仮定法の話なので、ここも「would」を使って仮定の状況を示します。

7. "choose a lot of jods future" → "choose from a lot of jobs in the future"

- ・ "jods" はスペルミスで、正しくは "jobs"。"choose from" は「たくさんの選択肢から選ぶ」という意味で自然な表現です。"in the future" も正しい形です。

8. "go to travel for some counturies" → "travel to some countries"

- ・ "go to travel" は冗長なので、"travel" のみで十分です。"for" ではなく "to" を使い、目的地を示します。"counturies" はスペルミスで、正しくは "countries"。

③ 文法的な誤りの特徴と学習時の留意点

・ 仮定法の使い方の理解不足

現在の事実と異なる仮定を述べる際には「仮定法過去 (If + 過去形, 主語 + would/could/might + 動詞の原形)」を使います。仮定法を正確に使えるように、特に "would" や "could" の使い方を意識しましょう。

・ 数えられる名詞と数えられない名詞の使い分け

"culture" や "job" など、数えられるものは複数形を使う必要があります。数えられる名詞・数えられない名詞の区別を練習しましょう。

・ スペルミス

"jobs"、"countries" などの基本単語のスペルミスが見られました。単語の正確な綴りを確認し、書くときにも気をつける習慣をつけましょう。

・ 前置詞の使い方

"travel to" や "choose from" のように、動詞と一緒に使われる前置詞を正しく覚えましょう。よく使われる動詞と前置詞の組み合わせをリストアップして練習するのも効果的です。

④ 内容・構成に対するフィードバック

・ 内容について

自分が英語を話せるようになったときの夢や希望がしっかり書かれていて、とても良いと思います。英語の本や映画、歌に親しむことで文化を理解し、語彙力をつけるという視点も具体的に説得力があります。さらに、将来の仕事や海外旅行についても触れているため、自分の未来の可能性を広げたいという気持ちがよく伝わります。

・ 構成について

「英語を話せるようになったらやりたいこと」→「その理由」→「その挑戦が自分に与える影響」という流れがしっかりしていて読みやすいです。ただ、もう少し具体例を加えるとさらに良くなります。例えば、「どんな英語の本を読みたいか」「どんな国を旅行したいか」など、具体的なイメージを入れると、より豊かな内容になります。

・ 提案

最後の部分を少し膨らませて、「英語を話せることで、自分の世界がどのように広がるか」をもう少し深く考えて書くと、さらに印象的なエッセイになると思います。例えば、「海外の友達を作る」「留学する」「国際的な仕事をする」といった具体的な夢を加えてみてはどうでしょうか？

全体的に、英語を使った夢や希望がしっかり伝わる素晴らしいエッセイでした。文法や語彙にもう少し注意を払えば、さらに正確で自然な英語が書けるようになると思います。これからもたくさん英語に触れて、自分の考えをどんどん表現していきましょう！

⑩ 生徒の振り返り

エッセイライティングふりかえりシート

① ChatGPTのフィードバックを読んで気づいた自分の「クセ」

単語の誤りや前置詞の誤りなどの覚えるところを覚えられていないことが分かりました。他にはEnglish、canといった簡単な単語を何度も使っていることも文を読み直して分かりました。文法的な誤りについては仮定法を理解できていませんでした。特に仮定法過去をもう一度勉強し直す必要があると思います。

② 今後に向けての「意気込み」

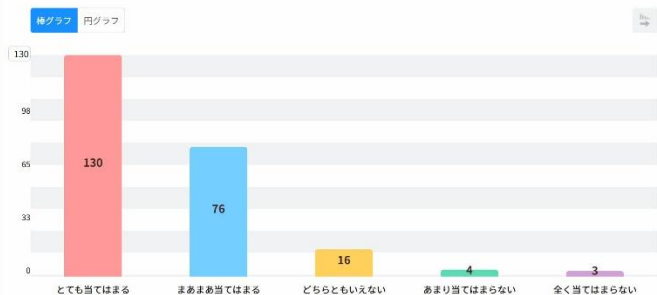
今回は前のライティングテストの時よりも対策をせずに行ってしまったので点数が大幅に落ちてしまいました。部活の朝練とかぶって朝に勉強することができないので家でする時間を増やそうと思います。論表の課題も簡単な文法ばかりを使っているなかなか難しいことは定着できていないので2年生からは意識して文章を書こうと思います。

○教師から何の指摘をされることもなく、AIでの添削のみを通して、「仮定法過去をもう一度勉強し直す必要がある」という今回の最重要ポイントに気付いていることは大きい。

○「簡単な文法ばかりを使っている」という自信のクセを見直し、今後は改善していくという意気込みが見られる。(若干言い訳がましい部分も見受けられるが、、笑)

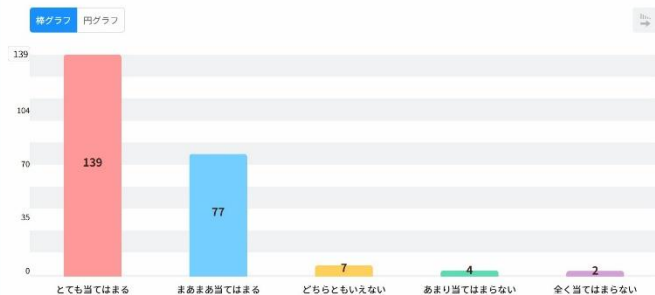
⑪ 生徒アンケート

Q1 ChatGPTを使った英文添削は役に立ちましたか？



回答者数 229

Q2 ChatGPTのフィードバックは分かりやすかったですか？



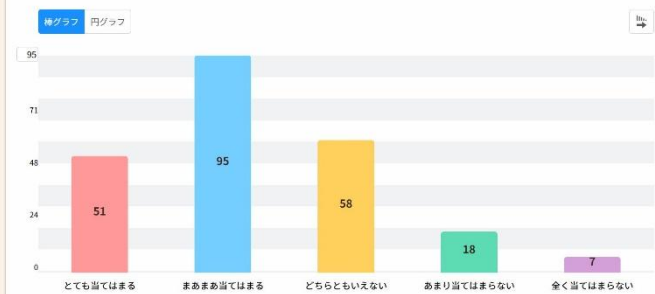
回答者数 229

Q3 ChatGPTを使用することで、自分のエラー（間違い）の傾向を把握できましたか？



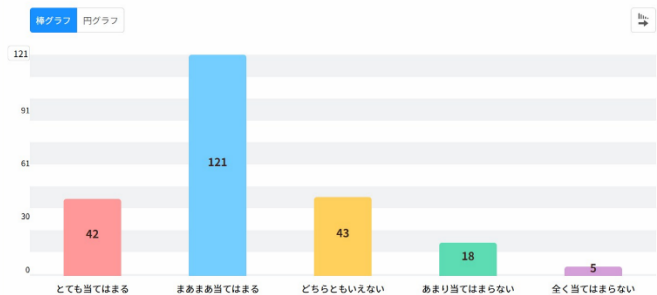
回答者数 229

Q4 ChatGPTのアドバイスは英語学習のモチベーションを上げてくれましたか？



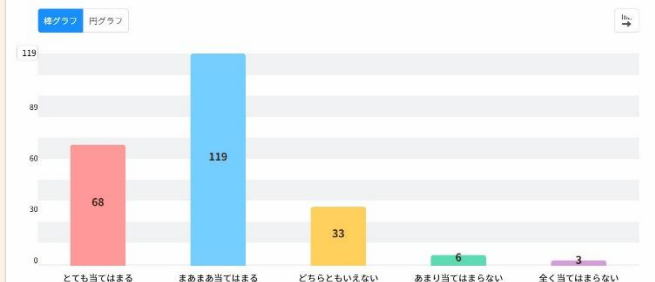
回答者数 229

Q5 この課題を通じて英文エッセイを書く力が向上したと感じますか？



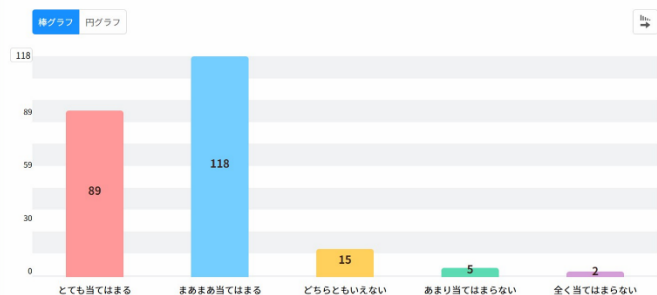
回答者数 229

Q6 今後この課題を継続していくことで、英文エッセイを書く力が向上していくと思いますか？



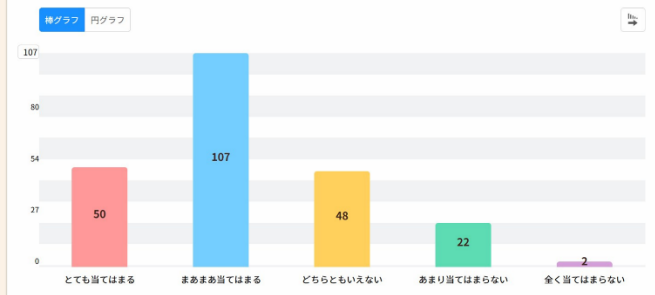
回答者数 229

Q7 この課題を通じて文法やスペルミスに対する理解が深まりましたか？



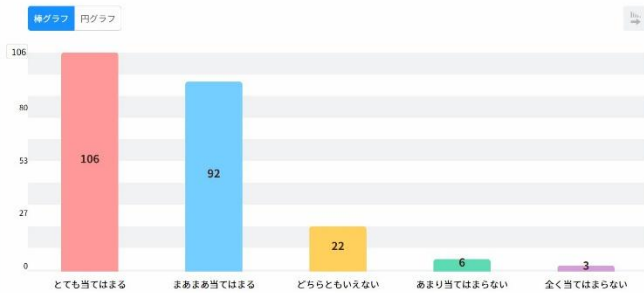
回答者数 229

Q8 この課題を通じて英文の構成（段落の構成や話の流れ）について意識が変わりましたか？



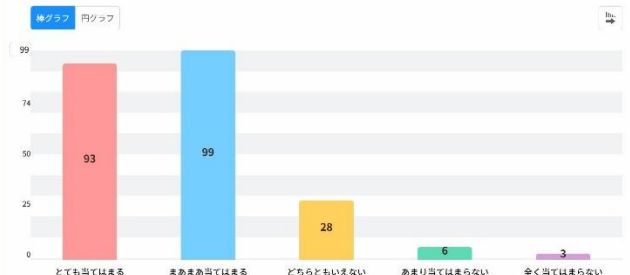
回答者数 229

Q9 この課題は英語学習に役立つと感じましたか？



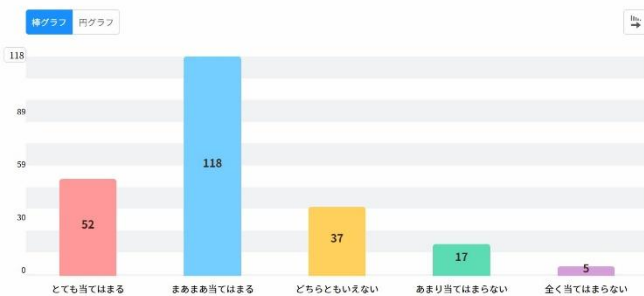
回答者数 229

Q10 課題の進め方（事前エッセイ準備→授業内テスト→AI添削→振り返り）は効果的だと思いますか？



回答者数 229

Q11 事前に準備したエッセイを覚える過程で、英語力や表現力が向上したと感じますか？



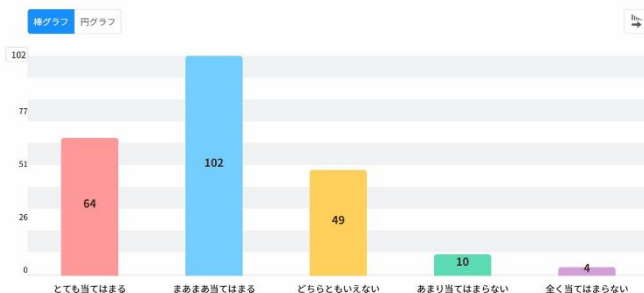
回答者数 229

Q12 「振り返りシート」を書くことで、自分の学習方法を見直すきっかけになりましたか？



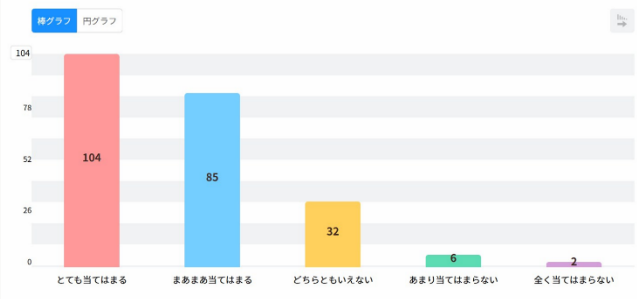
回答者数 229

Q13 自分でエッセイを準備し、ChatGPTを使って修正箇所を分析することは、自律した学びに役立ちましたか？（自律した学び＝自分で考え、改善する学びの姿勢）



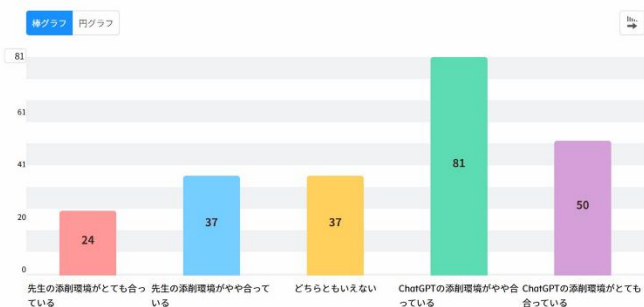
回答者数 229

Q14 今後もAIを使って自分で英作文を添削して改善していきたいと思いますか？



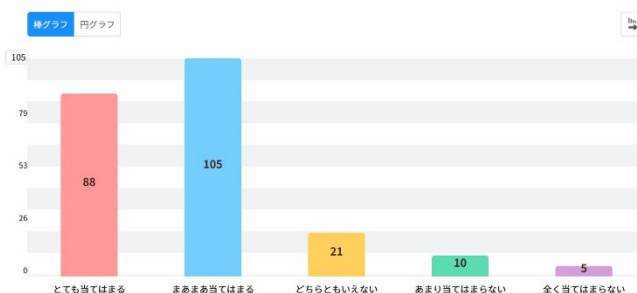
回答者数 229

Q15 「先生に時間を限定して添削してもらう環境」と「ChatGPTを使っていつでも添削できる環境」のどちらが自分に合っていると思いますか？



回答者数 229

Q16 先生が作成したロイロのカードに記載されたプロンプト(=ChatGPTへの指示の出し方)を読んで、自分がChatGPTに指示を出す際の参考になりましたか？



回答者数 229

活動に対して肯定的な回答が全体的に多く、
また AI 活用にも積極的な姿勢が見える。

⑫ 生徒アンケート（自由記述）

[質問 17]この課題を通じて印象に残ったことや感じたことはなんですか？（※「特に無し」は削除）

- 非常に使いやすくて役になったと感じた。
- 回答が早く帰ってくるためスムーズに復習できた
- 文章をいかに正確に英語訳できるかが大切だと思った。
- 自分の文章の駄目なところを自分の端末で手軽に見られたり添削してもらえるのはすごく便利だと感じた。
- 自分の文章を添削して、自分の間違いの傾向を知れたこと。
- 細かく添削してくれるからわかりやすかった
- ChatGPT は便利と思った
- 間違えて覚えている単語のミスを気づけた
- AI を使うのはけっこう難しいと思った
- 自分のミスが瞬時に的確に返答されるのですぐになおせて良いと思う。
- 覚えるのが大変
- 便利な世界になったなと思った。
- chatGPT は分かりやすくまとめてくれるので分かりやすい。
- 文章を覚える力がついたと思う
- チャット GPT に文章を打ち込むときちゃんと返答してくれて自分の英語力に繋がった
- チャット GPT の方が先生より気を遣わずに質問できると思いました
- 初めての経験だったが、自分の英文をわかりやすく評価してくれて良かった
- 覚えるのが難しい
- "日本語の文で書いた以上に英語の文が長くてびっくりした
- 読めない単語とか出てきた"
- チャット GPT が自分の作った英文を添削してくれるとは思わなく、丁寧な説明で自分がどこが出来ていて出来ていないのかを分かりやすく説明してくれて分かりやすかった。
- ChatGPT を初めて有効的に使ったから、新鮮だった。
- 自分が添削するより自動でやってくれるので良いし楽できます。
- 自分で文を書く上で、どこが間違っているのか、何が苦手なのかがわかった。
- 二つの表現の仕方がある時にこっちの表現の方が口語な感じでいいとか翻訳だけではわからないことを教えてくれるのですごくいいとおもった。
- 簡単な表現しか使えていない
- 自分が時制や接続詞の理解が浅いことが分かった
- チャット GPT のフィードバックは、分かりやすいですが記憶には残りにくいです。疑問に思ったことはすぐに質問できるのでそこはとてもいいと思います。
- 自分の能力英語力の低さを痛感する上、自分の間違いの傾向を見ることができた
- 自分の文のよくないところを正確に教えてくれるので自分の文の何がいけなくてどうすればいいのかを理解できた。
- ChatGPT は正しい使い方をすれば学力向上につながると思いました。
- 自分の伝えたいことをより簡潔に書く力がついたと感じる
- 自分の文章がしっかり添削されていて、次からどのように表現すればいいのかがわかったこと
- 先生に聞くと文には残らないけど GPT に聞くと文にも残るし分かりやすいし、聞きやすい。あと、自分の英文のミスの傾向も分かるので勉強になる
- やったことがないことで初めは違和感があったけど聞いた質問の返答がスクリプトなどで残せていつでも見返せることが良い点だと思います。
- すぐできて便利だなと思った
- 簡単な英語をつかった文にすることが大切
- 文法を正しく使うのは難しいと感じました。
- 英作文を作る練習になるため助動詞の使い方などを意識できたと思います。
- ChatGPT が的確に間違いを添削してくれるので、自分の傾向がよく把握できていいと思います。
- 自分の文のここができていないのかと思ったり、理由もつけて説明してくれるので間違えた理由や次に改善すべき箇所などがよくわかる。改善点や良い点、誤りや学習ポイントも教えてくれるのがとてもありがたい。
- 忘れた時に自分で考えるのが難しかった。
- 私は2学期の初めの時は自分で文を考えて構成を考えることで文を書くことが楽しかったし、自分が知っている文法をどのように使うか考えることで文章を書く記述の能力が上がったように感じたが、添削と自分が伝えたいことが違っていたり、知らない文法が導入されて分からなくなったりするので ChatGPT が完璧すぎてついていけなかった。また、他の人に関しては、点数化されることによって高得点を取りたいので文章自体を ChatGPT に考えてもらっている人がいた。それを暗記することで英コミのように文章の取り入れ方を理解できるものの、自分で文章を考えて表現するという点では欠けていると思った。3学期に関しては、文章を覚えることがメインになってしまい、自分が伝えたいことが伝わっているのかが分からなくなった。しっかりと自分で文章を考え、表現することを全員が意識すると一人ひとりの能力は向上すると思った。合う人と合わない人が分かれそうだなとは思った。添削で打っただけ、あまりしっかり読んでいないし、コピペをしているのであまり頭に入ってこなかった。文章を構成する楽しみや、自分たちが学んだ文法が早速使えるのだ、使いたいと思える機会ではあった。楽しかった。
- 質問をしただけで返答がくるのが良い
- いままでは直接先生に聞きに行かなければならず、チェックにも時間がかかるし、人間だから間違えることもあったけど、ChatGPT にきいたら、数十秒で出てきて正確に書かれていたので、衝撃がすごかった。
- 添削してもらうのに英文を打つのは効率が悪すぎる。

- あってるところを間違っているとされたからあんまり意味ないと思った
- パフォーマンステストでチャット GPT を使うことでよりわかりやすい発表ができました。
- ライティングテストをするにつれてとても便利で使いやすかったです。
- とても良い取り組みだと思う
- 自分が考えた文の悪いところがわかったこと
- 前よりも英語についてわかりやすくなった。
- チャットは最後によかったところを表示してくれるからモチベがあがる。
- AI はすごい
- AI は人を超えるんだなと思いました
- チャット GPT で自分の癖などを見つけられることができて、わかりやすかった。
- 意外と文法ができていない
- 長文を考える難しさ
- 作業時間が減り楽になった。
- chatgpt は自分では考えられないようなことを言うてくれるので自分の思考の視野が広がると思うのでいいと思った。
- 自分のくせも見つけて指摘してくれる
- 自分はどんな癖があるのかチャット GPT が教えてくれてわかりやすかったしピンポイントのところを言うてくれてわかりやすかった
- 自分の英文を書く時の癖が見つかったのでそこを直そうと思った
- 英文をかく力が身についた
- わかりやすい表現などを教えてくれるので助かった
- 時制や流れを確認できた
- ネイティブの人への伝わり方を知れたこと。
- 力がつきそう
- 自分のクセに気づけてのでよかった
- 自分が正しいと思ってたものが違うことに気づいた
- 自分が出来ていないところが明確化されてやりやすかった
- できていると思っていたところができていないと知った。
- 英文を作ったら先生に聞けなくても家で chatGPT に聞いたらすぐ教えてくれるから便利
- chatGPT 便利だと思いました
- chatGPT を使うことで自分の間違える傾向がわかり自分で英文をつくときは意識して作ることができるようになったと思う。
- 直すところがたくさん合ったため長年学んできたのにと自信をかなり無くした
- chat GPT は細かいところまで説明してくれるのでわかりやすいなと思いました。
- 自分の英語力の無さを実感した
- 自分の癖などをしっかり解説してくれるので、使いやすいなと思いました。
- 全然今の英語であると感覚でしか通じないとわかった。
- 自分で聞きたいことがうまく gpt に伝わらなかった。
- チャット GPT の文章作成力がすごくて、これからも使って学習していきたいと思いました。
- チャット GPT だと一瞬で添削してくれるのがすごく便利だと思った
- 難しい
- 最初に自分で文を考えてみて、一度チャット GPT に確認してもらうのが良いなと思いました。
- 自分の強みやよくしてしまう間違いなどがはっきりとわかったので良かったです
- ただ単語のスペルミスや、文法が間違っているところを添削するだけでなく、同じ表現を避けるために他の表現を紹介してくれたりとするとすごくいいと感じた
- 自分の英作の技術が向上した
- チャット GPT は英文のヒントにつかうのが少し難しいと感じた。少しこんな英文にしたいからどうすればいいと一度書けば、こうしたらいいという模範解答をしっかりと示してくる。それも指示の仕方によるものだと思うが、自分はその辺を難しいと感じた。
- 自分の書いた文章を振り返ったり、間違いを見つけるのはおっくうだと感じるけれど、chatGPT に見てもらっただけだとすぐ終わるし、自分は読んで振り返るだけだから先にやってしまおうという気持ちになれる。結果的に早く振り返れているのでいいことだと思う。
- 自分の力で作った英文を、覚えて添削してもらうまでの工程を繰り返すことで、英語力が少しずつでも身につけている気がしてよかったです。
- 自分のミスの傾向がわかり改善できたことが嬉しかったです
- やっててやはり一つ重大な部分があってそれが単語です、頑張って単語を組み合わせで作っていると副詞、形容詞、時制がともぐちゃぐちゃでまだまだ文章を書くのは苦手なんだなと感じました
- chat GPT に本文を打ち込むのがめんどくさい
- 自分の苦手な文法をよくするスペルミスについて知ることができました。そのおかげで自分のこれからの勉強方法を考えるきっかけになると感じました。
- 自分だけでは気づけなかったミスを指摘してくれるしその改善点まで出してくれるので英語への理解が以前より深まった。それに文を書いて送るだけで簡単なのがよかったです。
- チャット GPT があることで家でもわからないところが出てきたらいつでも聞くことができるのでとてもいいなと感じました。でも聞けばすぐに答えを出してくれるので考える力がつきにくいのかなとも感じました
- チャット GPT は文法を知りたい時にまとめてくれていたり添削も自分が納得のいくような返しだったので自分の英語力を上げてくれるきっかけになりました。
- チャット GPT の添削のおかげで、自分がどのような間違いをしやすいかを知るきっかけとなったので、いいなと感じました。

- 人が添削しても難しいようなフィードバックやアドバイスが、GPT が添削するとしっかりとした内容で返されて驚いた
- 出されたお題に対して文章を作成することは自分にとって難しいと感じた。
- 英語表現の言い換えなど分からないことをいつでも聞けるツールは今までにスマホを使う以外なかったのでありがたいと思った
- chatGPT の凄さがわかりました
- すぐにアドバイスがくれることはいいなと思った
- チャット GPT は先生というよりもお友達感覚で教えてくれて楽しかったです！すごく優しくて棘のないマシュマロ言葉で教えてくれたのでモチベーションも下がらずに勉強できました！
- しっかり自分の弱い部分を分析してくれるので学習しやすいです
- 自分の英文法面でのミスがどのようなミスなのか明確に可視化することが添削するだけでできること。→後々自分の英語力向上につながる。
- AI に添削されても文法が間違っていると先生から指摘された事があるのであまり先生の添削は必須だと思いました。
- AI の使い方をよく理解することができた。自分は初めてこの学校で AI を使用して色々な使い方を教えてもらえて良い機会になったと思います
- AI だと一瞬で添削してくれて便利だった。うまく質問すれば、適切にミスを教えてくれてわかりやすかった。
- 毎回、自分のミスを確認できていいこと
- 文法ミスが多いことに気がついた。
- 学習の質が向上した
- AI はすごい
- チャット GPT による、添削は非常にわかりやすくなりが多く、また時間や量を気にすることなくできた
- チャット GPT の添削が思っていたよりも的確で、先生のように、具体的にわかりやすい説明で良かった。
- 覚えるのが大変でも案外中学の文法でも文はかけるのだと思った
- プロンプトがしっかりできてないとちゃんと添削してもらえないんだなと思いました。
- chatgpt がすごい
- 今まで気づかなかった自分の癖や文法のミスを的確に判断し、指摘してくれるので自分の直すべきポイントをおさえられて、自分の英語力の向上につながっていると思います。
- 英語を考えるのが難しい
- "英文を入力して AI が解析をしてくれるのが便利に感じた。
- わかりやすく解説をしてくれるので、英文を書くことが楽しくなった。"
- 自分のところだけで完結出来たことが印象に残った
- 自分の苦手なところを詳しく解説してくれて次から苦手なところを意識し始めた。
- 短時間で自分の間違えを理解することができるのはとても効率的だと思いました。ChatGPT の説明も分かりやすかったです。
- 自分の好きなタイミングで正しい添削をしてくれるからありがたい。
- いつでもすぐに自分の英作文の何がいけなかったのかわかるので他の時間を有効活用したり自分のミスに対する考えが深まったのでとても良かった。
- 「細かく」や「丁寧に」みたいな感じでも chatGPT は分かりやすく教えてくれるので、先生に質問するのが苦手な自分でもやりやすかった。
- 添削が早い
- いろんなことを調べることができる
- S や V など、文法の形を覚え、更に表現身につけることが出来れば更に良くなると自分の中で感じました。
- ChatGPT の説明が思ったより分かりやすかった
- 自分の文をより相手に伝わりやすくしていく点や普段の学びではなかなかわからない自然な言葉の使い方に直してくれるのはいいなと思った。
- 自分が間違えやすいところがどこか知ることができてよかった
- 最新技術を学習に取り入れることはとても良いことだと感じました
- 自分の英作文のときの癖を理解して改善する機会ができてよかったと思いました。
- Chat GPT を使うことにより自分のタイミングで振り返りを行えるのはいいなと思った。
- チャット GPT の添削が思っていたよりも的確だったこと。
- 授業で何回も言われている because の使い方がいまいち理解できなくて、この前の writing テストでも間違えてしまったけど、丁寧に分かりやすく教えてもらったり、ここが違うと具体的にわかることができました。
- チャット GPT の進化に驚きです、詳しく教えてくれるのでわかりやすいですが、やっぱり先生に直接教えていただくほうが私はわかりやすいです
- 自分の文法のクセを見つけ、直してくれるのはとてもありがたいです
- チャット GPT の使い方がよく分かった
- chatgpt のフィードバックの英文が他の翻訳サイトなどと比べて非常に正確だったのが印象的でした。
- 一つのミスに対して何でそうなったかとか、ひとつ一つに詳しく説明を入れてくれてたからその後の英語学習で文章を作るときに改善しやすかったし、自分のミスを意識して文章を作ることができたと思う。
- 自分の間違ったところや苦手なところを教えてくれて理解できた
- 文法のミスを指摘してくれるのがよかった
- チャット GPT の添削が完璧でわかりやすかったです
- 今までは先生とかが治していたところを AI がすることがとても進化してるなと感じました。
- 自分の書いた英作文の癖を知ることができた。
- 自分で文を作って GPT に添削してもらおう、思っていたよりもすごい量のお直しがあって、同時に自分はこのところを毎回間違えているなというのが良くわかりました
- 自分が書いた文章の間違っている点をチャット GPT が正確に直してくれるから助かったこと。
- 自分の間違いの傾向を把握できたのでよかった。

- 先生に何度も質問したりすることはできないので、ChatGPT の存在は非常にありがたいと思った。自分が欲しい回答をくれるし、分かりやすくて良いが、本当に合っているのか少し不安はある。
- GPT にはいろんな使い方がある
- AI だから質問しやすいし先生に個人で説明してもらっても分からない時があっても分かりましたとしか言いづらいけど何回でもわかるまで聞けるからとても良いし今後も活用していきたいです
- いざ英語にしようと思うと、思うように書くのは難しいと思った。
- 自分で文章の構成を考えて英語で書くということを普段あまりしていなかったのが難しかったですが、今回の課題を通して少し成長できたと思います。
- 1つの質問に対して理由をたくさん考えるのが難しかった。
- 文を添削してもらって直された後、難しすぎる単語に変えられている時がある
- Chat GPT に添削をお願いしてそのままテスト用紙に書くとお直しをくらい、Chat GPT が必ずしも正しいわけではないことを知りました。一方で Chat GPT は自分の間違いの傾向や、同じ文法の使い回しなどを指摘してくれたので改善しやすかったです。
- 初めてのことで疑問が多かったけどやれば楽で簡単だしいと思った。
- 自分では気づかないミスをわかりやすく教えてくれ助かった。
- 新しい表現を知ることができた
- 自分が書きたいことをどう書けば良いかわからない時に、チャット GPT に聞いたら難しすぎない英語を教えてくれるので、作文を覚える時に自分が知ってる単語なので覚えやすかったです。
- 自分では気付いていないスペルミスをしていることに気付いた。
- 勉強できる幅が広がったと思います
- 自分が知らない表現の仕方や単語を学ぶことが出来た。また、ほかの場面で文章制作をする際に参考にしたいと思った。
- 英検のライティング練習での活用もできて便利だった。
- たまにチャット GPT 添削後の文章が思っていた内容と違うことがあったので指示の出し方が難しかった。でも、フィードバックの時は的確な説明とか、添削がされていてわかりやすかった。
- 自分のミスの傾向がわかった
- 自分が英文を打ち込む過程で実際にテストで回答したスペルと違うスペルを打ってしまうことはあったが、AI のアドバイスは正確で添削するスピードも速く自宅で完結させることができる課題で良かった。
- 自分のやりがちな文章ミスや弱点をわかりやすく説明してくれるので、文法の練習の参考にもなる。
- 添削を ChatGPT にもらった際自分のミスの癖がわかるので普段の授業でもそれを意識できる様になった。
- 案外 ChatGPT が細かく自分のミスやそのミスに対しての対策などを教えてくれたこと。
- それをチャット GPT に添削を頼むと、文法そのものを変えるのではなく、より自然な表現に変えてくれたのがよかった。
- ChatGPT から返ってきた添削の中でも分からない所があればすぐに質問することが出来るのがとても良いと感じました。
- 英検などのライティングテストは問題を見てすぐに英文を考えていくものなので事前に問題が分かるのは chatGPT に慣れるという面では良いが英語力を上げるという面では効果が薄いと思った
- ChatGPT は勉強の質問に対し、聞いた事とは全く関係のない返答をする事があるため、進んで使う事はなかった。けれど、今回の経験から ChatGPT に対する理解や使用方法についての考えを深める事ができ、今では好きなタイミングで自由に使えるようになっている。
- ChatGPT が、自分の間違いとその原因、なんでダメなのか等を詳しく教えてくれて分かりやすくて良かった。
- 自分の文法能力を信じて作った文章では、基本的な部分が抜けている事があると言う事がわかったので、それ以降の文章作成の時に意識するようになりました。
- 自分で考えた文章を瞬時に丁寧に添削してくれるからモチベーションにつながる。何度も添削をしてもらっていると、だんだん自分の癖がわかってくるので、どのような勉強をすればいいかわかった。
- もっと良い表現の仕方を知ることができる添削を提出するのに少し時間がかかる"
- ChatGPT がとても便利で、学習面での使用にとても役に立つということ。このテスト以降学習目的で ChatGPT の使用率が上がった。使い方によってはとても便利な AI だと思う。

[質問 18] 次回以降、この課題を改善するためのアイデアがあれば教えてください。(※「特に無し」は削除)

- このままで大丈夫です。
- 限定する
- 授業内に考える時間をとってほしい
- 事前に文章を考えるのではなくて、即座に自分で文を考えて書くことも必要だと思う。
- 書く時間が短すぎる気もしますし、テーマが簡単なものが多かったと思うのでもう少し自分と発表を重ねられるようなものと深みが出るかと思います
- 重要だと思う GPT のフィードバックに下線を引いて提出することを義務にするなど文章を理解しながら読むようにできる
- 難しすぎる英語が返ってくることがあるので簡単に一言つけている
- 従来の方式で大丈夫です。
- 難しい単語や表現をあまり使わないことでスペルミスを減らし、英文も覚えやすくなる
- 思いつかなかったです。
- 思い浮かびませんでした。
- 特にありません。今のままでいいと思います。
- 学習ポイントを教えてくれる時、こういう風に勉強したらできますよと教えてくれず、練習する、高める、意識させるとしか教えてくれないので勉強法も教えてくれたら助かる。そして復習問題とか作ってくれたらとても勉強に役立つ。
- もっと正確さがあってほしい

- ChatGPT に考えさせるより、自分が考えたいと思うような課題にする。例えば、自分の部活と入ったきっかけは何かとか、自分の特徴を表現させるようなものにする。③学期の課題より、二学期の課題の方が書きやすかったです。
- 学力向上していくのに適していると思うのでこれからも使っていきたい
- もっと、chatGPT を聞いてくれるようにしていただきたい。
- もう少し難しくしてほしい
- まず文章をちゃんと考えさせてからやるのがいいと思う。日本語だけ考えて英文化はチャット gpt に任せる人ができそうなので
- 先にエッセイを覚えるのはあまり意味がない完全に即興がいい
- このままでいいと思う
- 指示の仕方もプリント以外で教えて欲しい
- 使わないといけない文法を決める
- 準備ゼロでテストみたいに出された文章を参考にして chat GPT で添削する
- 事前エッセイを自分で一通り考えた後チャット GPT で添削してもらおうとこの課題のやっていることと被ってしまうので英文を作る時に決まり事を決めてみたりすると難易度が上がるものは上がって良い刺激になると思います。
- 今の段階では文を覚えてそれを書き写しているだけなので、授業内で日本語の文章を出されて英文に直すという即興的な英作文を作るテストもいいと思いました。
- 自分の英語の語彙力を身につけることでよりお題に対する表現がより良くなると感じました。
- chatGPT を使って分からないところを教わるのは塾に行っていない人や、聞くのが苦手な人にいいと思いました
- 特にないが自分が添削した部分で少し不安なところがあればそこを少し多めにアドバイスを ChatGPT に自ら要求するなどが良いかも→例)I would like toの部分のところについて少し詳しくにアドバイスしてくださいなど。
- AI は必要だと思います。
- AI に少し質問方法が違うとしっかりと答えてくれないところや、自分が使いたい文法を指定しても訂正してくるところ。
- このままでいいと思う
- A.I.をもっとつかう
- 自分の場合は事前にエッセイを準備しても調べることが多く、表現力が身につけにくいと思いました。実力テストにして、その限りの時間の中でどれくらい答えることができるか試すことで、実際の自分の英語力を試すことができ、それを AI に添削してもらおうと、模試などで答えられる実力が身につくと思いました。
- 課題以外でも授業でチャット GPT を取り入れて先生に習うことと同時並行で進めたいです。
- あってもなくても変わらない
- ChatGPT に長々と条件を出さないと正確な答えが返ってこないのは少しめんどくさいと思いました。
- 全てを頼らずに添削のときにつかう
- まずは日本語から考え、英語に書き起す際に chatGPT をうまく活用する。
- 他の課題で英文を作った時にも活用してみる
- このままで
- チャット GPT で指摘された間違いと同じ間違いをしていないか確認する
- 定期的に任意で、英検のレベルごとなどで問題を配布して答えると、能力が上がると感じました。
- ChatGPT に添削してもらい、その後に「先生ならこう書く」みたいに先生
- チャット GPT を正しく使う
- 内容の違うお題でもう一回似たような文章を自分で作ってみる。
- 課金
- 単語の指摘は ai じゃなくて先生の方がわかりやすい
- 英検のような問題(〇〇に賛成か反対か、理由を挙げて～)を設定し、それに対して採点基準を合わせて gpt に要求した上で各項目でどれぐらいの完成度であるかを確認させる等。
- このままでいいと思う
- 事前にテストのお題などを伝えてると考えた文章を覚えて書くので、これからこのテストを続けていって能力が上がるのかわからないと思ったので、別の形式を取り入れたりしたら良いと思った。
- それぞれが準備する内容とは別に突発的に考える英検のライティングみたいなものを作っても英検対策などになるのかなと思いました。
- 問題は自分の英作文の力で解いて、その添削で chatGPT を活用するのが良いと思った
- お題について、文面だけの説明だけでなく、もう少し口頭での詳しい説明を多くして欲しい。
- 自分の実力を知るための事前準備なしの英作文を授業で行なって (テストとかではない)、チャット gpt を使った添削を課題として提出する。もちろん今のカタチのライティングテストもする。
- テスト後に行うことを①添削②自分のエラーの傾向の箇条書き等の書き出しのみでも良いと思う。振り返りを書くことによる良い点がありわからない。
- 提出の方法や期限を変える

⑬ まとめ

- ★生徒アンケートより、生徒が AI を使って自律的に学習する習慣を身につけさせることには一定の効果があつた模様
- ★実際に英語力の伸長に寄与するかどうかの証明にはデータ不足⇒難しいが、AI を使わない統制群などとの比較データが欲しい
- ★教員の添削負担は確実に減ったと感じる⇒人間が添削するよりも精度、速度ともに極めて優れている